

国土地理院の災害対応と 新しい「地理院地図」について

国土地理院
中国地方測量部

【使命】災害対策基本法に基づく指定行政機関として、
迅速な地理空間情報を関係機関に提供

①電子基準点等による地殻活動監視

常時、24時間連続観測、リアルタイム収集を実施

①電子基準点で検出した地殻変動

②空中写真等による災害状況把握

災害時は緊急撮影を実施

②空中写真

③標高データ等主題図の整備

10m DEM: 国土全域のデータを公開

5m DEM: 国土の約52%のデータを公開

③デジタル標高地形図

④災害情報の集約・公開

写真判読図等の地理空間情報を
早急に整備し、公表

④災害情報集約マップ

⑤災害対策用図

災害発生地域の図面を迅速に提供

⑤災害対策用図

広島豪雨災害の事例（斜め写真）

8月20日撮影 撮影地域：広島市安佐南区、安佐北区

8月21日撮影 撮影地域：広島市阿武山周辺、可部町(桐原、南原)

リンクから画像をダウンロード可能（JPEG形式）

一般へ公開



2014/8/21



2014/8/20

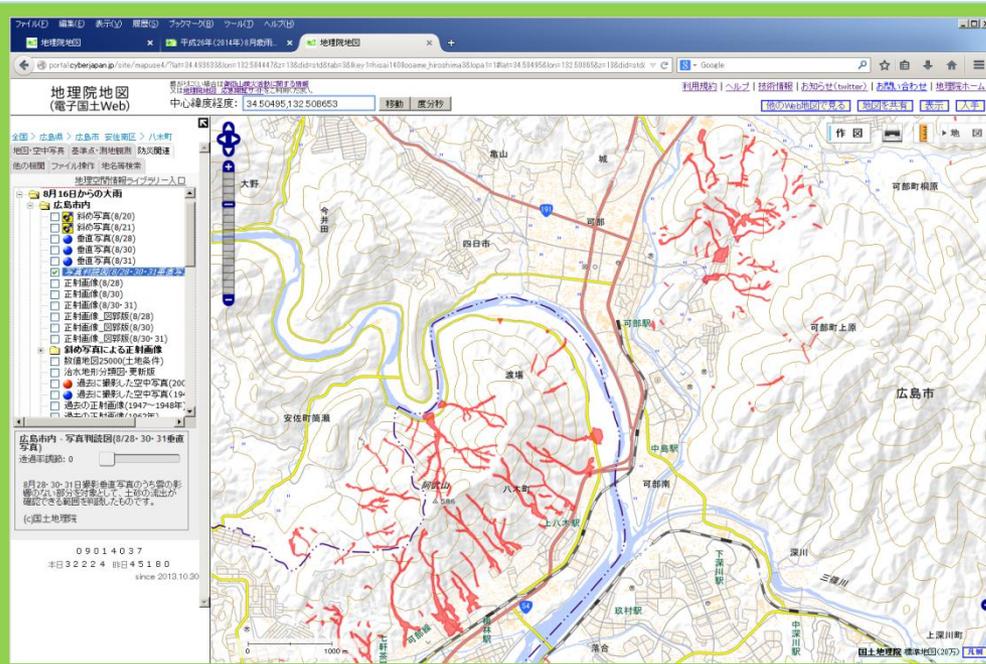
地理院地図にて撮影地点を公開



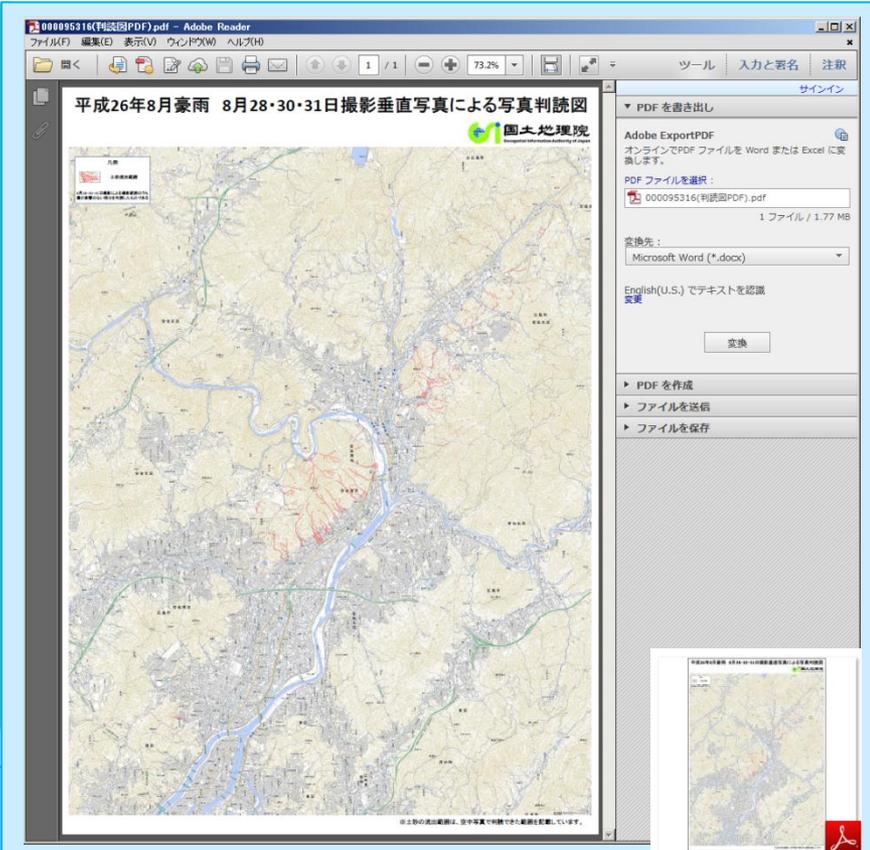
平成26年8月20日
14:30～15:00
国土地理院撮影

サンプル 2014/8/20 5D5A0327

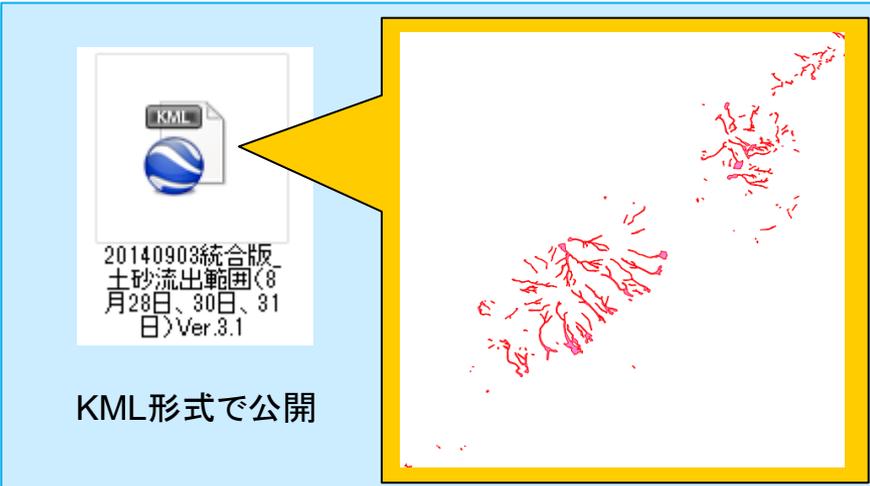
広島豪雨災害の事例（写真判読図）



地理院地図上で公開



PDF形式で公開
背景は地理院地図 ズームレベル16



KML形式で公開

位置情報を持つデータ形式なので対応するアプリケーションやサイトで表示することが可能

被災箇所(土砂流出範囲)を空中写真より判読

地理院地図でレイヤとして公開、地図(PDF形式)、位置情報ファイル(kml形式)で公開

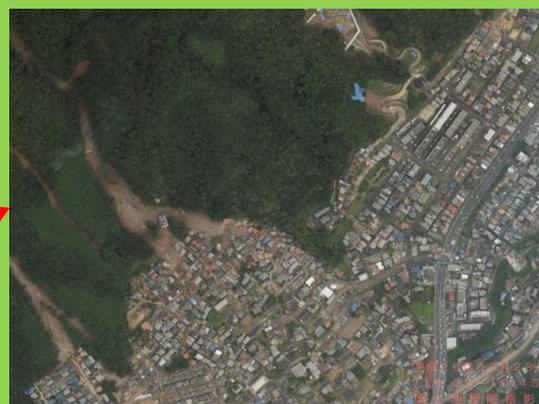
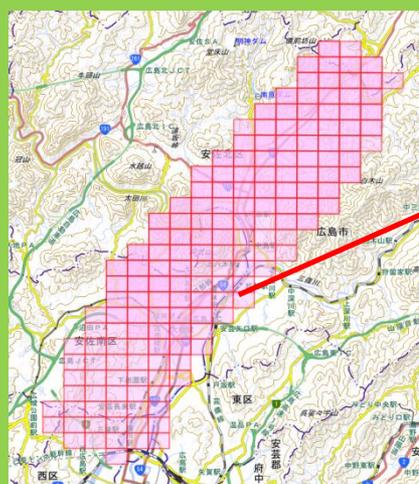
広島豪雨災害の事例（正射画像）



垂直写真を正射化 撮影日ごとに地理院地図のレイヤとして公開

写真地図の提供

地図情報を加えた画像も提供



地理院地図より図隔ごとに画像ファイルをダウンロードもできます

正射画像の位置情報のファイルも提供



正射画像
位置情報ファイル

位置情報があるので簡単に地図と重ね合わせて利用が可能

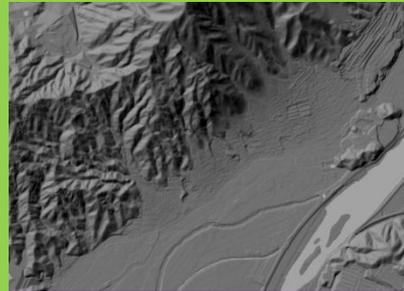


広島豪雨災害の事例（3D地図など）

3D地図を国土地理院HPより公開



斜め写真画像



既存の標高データ

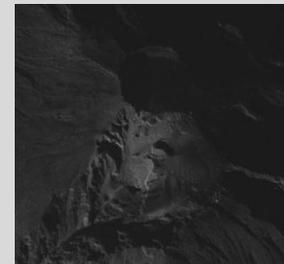


8月20日(水)に撮影した斜め写真を元に作成した立体地図(八木、緑井地区)
<http://saigai.gsi.go.jp/2/20140820hiroshima/hirosima3d/index.html>

- ・3D地図を閲覧には、Internet Explorer 11、Google Chrome、Firefoxを使用
- ・ハードウェア等環境によっては動作しない場合あり
- ・Mac版Safariで閲覧する場合、「WebGLを有効にする」

参考

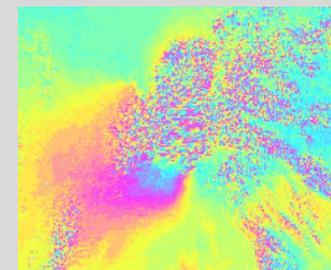
SAR画像:レーダーを使って、地球表面の変動を監視する技術。レーダーは雲や火山の噴煙も透過する(例は御嶽山)。



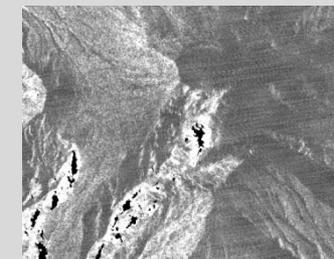
航空機SAR画像



地理院地図からレイヤとして公開



干渉SAR画像



衛星SAR強度画像

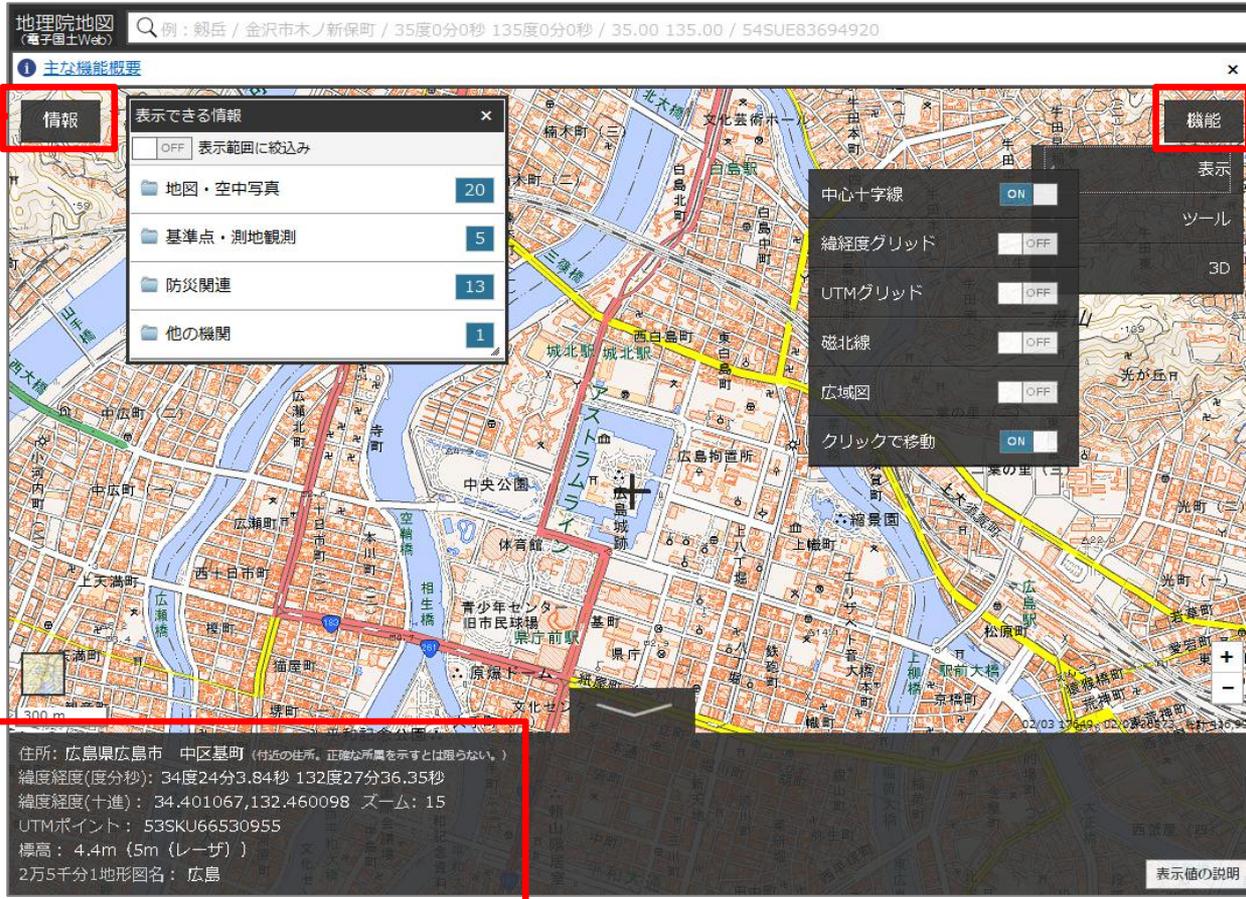
地理院地図からレイヤとして公開

リニューアルした「地理院地図」の特徴

○モバイル端末からも利用しやすい画面デザイン

地理院地図の膨大な情報や機能をモバイル端末から利用することは困難でしたが、様々な情報や機能をそれぞれワンボタンに整理したことにより、モバイル端末の小さな画面でも快適に地図を利用いただけます。

見たい様々な情報を選択



磁北線表示や作図など様々なツール

住所や標高などを表示

「地理院地図」の新しい画面デザイン

リニューアルした「地理院地図」の特徴

○スマートフォンのGPS機能を利用した現在位置表示

全国統一基準の地形図を整備・維持する国土地理院。その国土地理院のウェブ地図が、スマートフォンで測位した現在位置にジャンプする機能を備えました。インターネット回線と電源さえ確保すれば、日本全国どこにいても周囲の地形、住所、標高等を確認することができます。



「現在位置」を選択



現在位置周辺の地形図を表示

【問い合わせ先】

国土地理院中国地方測量部 電話:082-221-9758

E-mail: gsi-cg-bousai@ml.mlit.go.jp